



平成28年5月6日

国土交通省 関東地方整備局

港湾空港部

## 記者発表資料

# 「東京国際空港C滑走路他地盤改良工事」における 施工不良工事の疑いについて

～施工不良工事であること、虚偽の報告があったことが明らかとなりました～

関東地方整備局発注の「東京国際空港C滑走路他地盤改良工事」（東亜・鹿島・大本特定建設工事共同企業体、平成27年5月28日～平成28年3月18日）において、C滑走路下の地中部を対象にレベル2地震動（発生が想定される地震動のうち、最大規模の強さを有するもの）による液状化を防ぐための地盤改良工事を実施したところですが、さる4月28日、受注者から施工不良の疑いがあるとの申し出があり、直ちに事実関係を確認し、報告するよう指示した旨、記者発表を行ったところ（別添1）。

5月2日から5日にかけて、関東地方整備局が、該当箇所の施工を実施した東亜建設工業（株）より、事実関係について報告を受けたところ、施工不良であることを確認致しました（別添2）。あわせて同社から発注者である関東地方整備局に対して、データを改ざんした上で、契約図書通りに施工が行われたとの虚偽の報告がなされていたことも判明致しました（別添3）。

関東地方整備局としては、同社に対して、まずは事実関係の更なる詳細な報告を行うこと、原因究明とともに修補計画を早期に立案すること、国土交通省が実施する調査に必要な協力を行うこと等、所要の措置を直ちに行うように指示したところ（別添4）。

なお、C滑走路の通常の利用については、構造上の問題がないことを確認しておりますが、念のため、今後、滑走路の安全性について監視していく所存です。

※本プレスに関するブリーフィングを次のとおり実施します。

日時：平成28年5月6日（金） 17時00分～17時30分  
（受付は16時45分から行います。）

場所：関東地方整備局 132会議室  
（〒231-8436 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎 13階）

※ブリーフィングの際、カメラ撮影はご遠慮下さい。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ

### 問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部  
港湾空港企画官 杉中 洋一（すぎなか よういち）  
空港整備課 課長 大橋 照美（おおはし てるみ）  
電話 045-211-7421

# 東京国際空港C滑走路他地盤改良工事 施工不良の箇所

別添 1

- ・受注者: 東亜・鹿島・大本JV(特定建設工事共同企業体)
- ・工期: 平成27年5月28日～平成28年3月18日
- ・請負金額: 32億9千万円

■ : 施工不良の箇所

地盤改良工法: 薬液注入工法(注)

改良面積: 4,500m<sup>2</sup>

改良幅: 60m(滑走路幅)

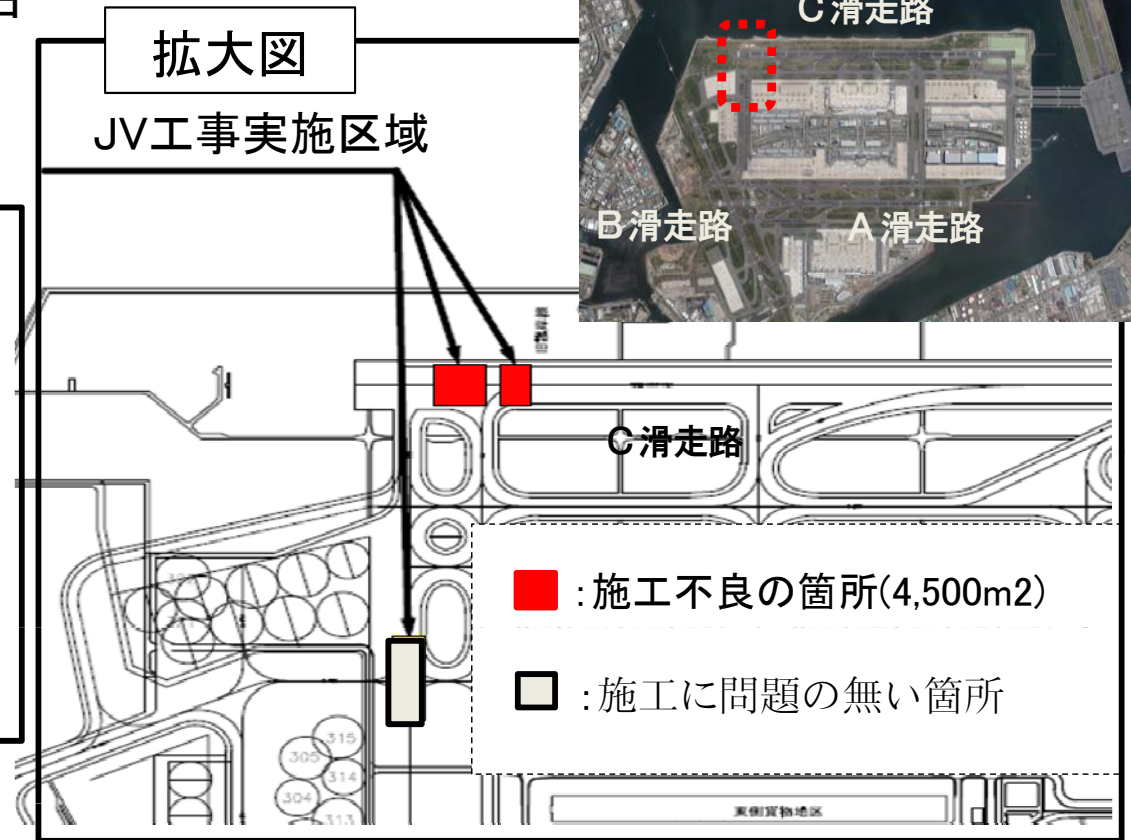
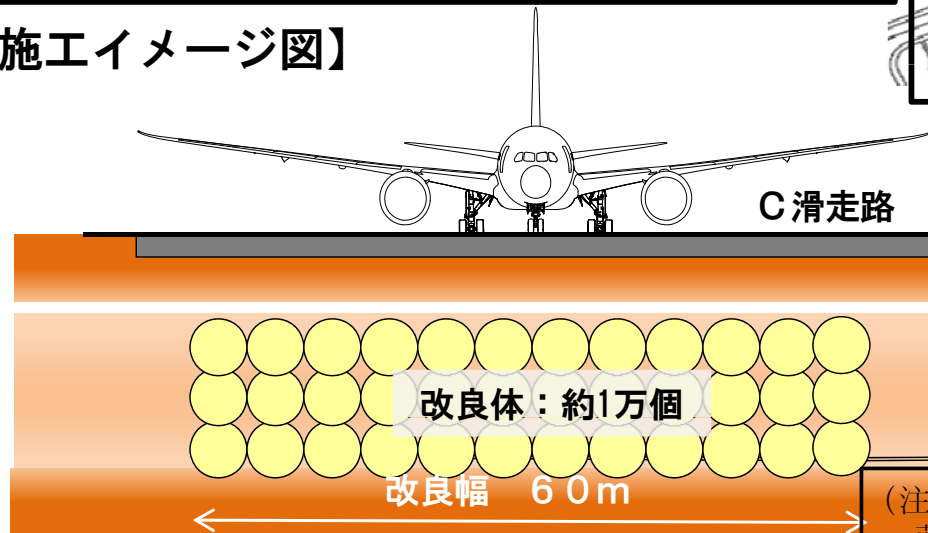
削孔方法: 削孔機による曲り削孔

削孔本数: 275本

改良体総数: 約1万個

薬液注入量: 約1,250万リットル

【施工イメージ図】



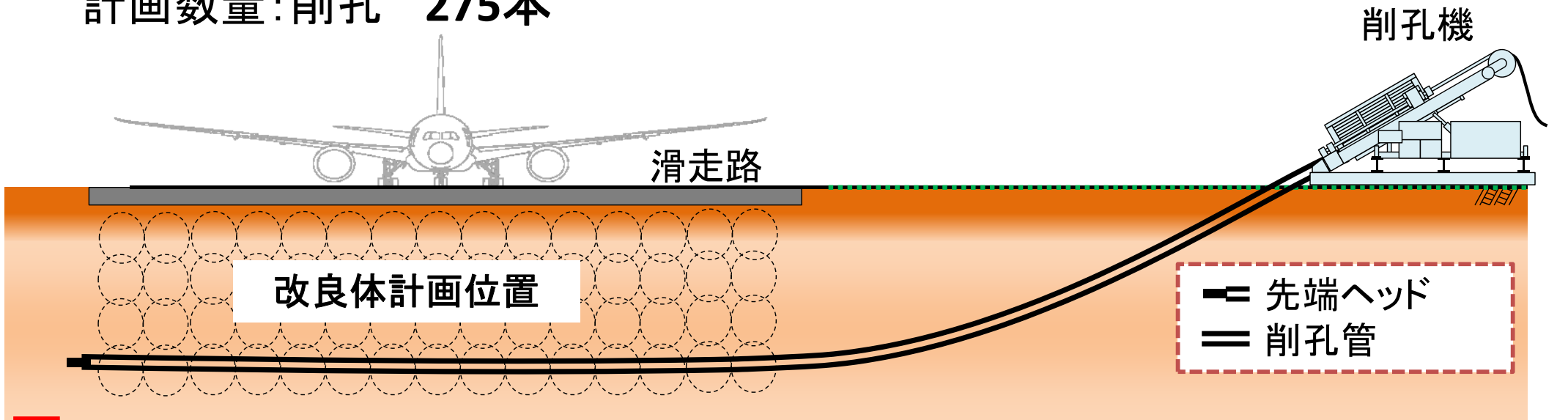
(注) 薬液注入工法(バルングラウト工法)とは、滑走路下の液状化する地層に薬液を注入することで、地下水をゲル化させ液状化を防止する地盤改良のこと

# 施工不良の状況

No		単位	計画数量(A)	施工数量(B)	達成率 (B/A)
1	削孔の契約図書に基づく 施工	本	275	0 (231本施工したが、契 約図書の位置にない)	0% (0 / 275)
2	直径2mの改良体の造成	個	10,450	0 (5,825個施工したが、 すべてが直径2m未満)	0% (0 / 10,450)
3	薬液注入量の達成	リッ トル	12,513,400	676,851	5.4% (676,851 / 12,513,400)

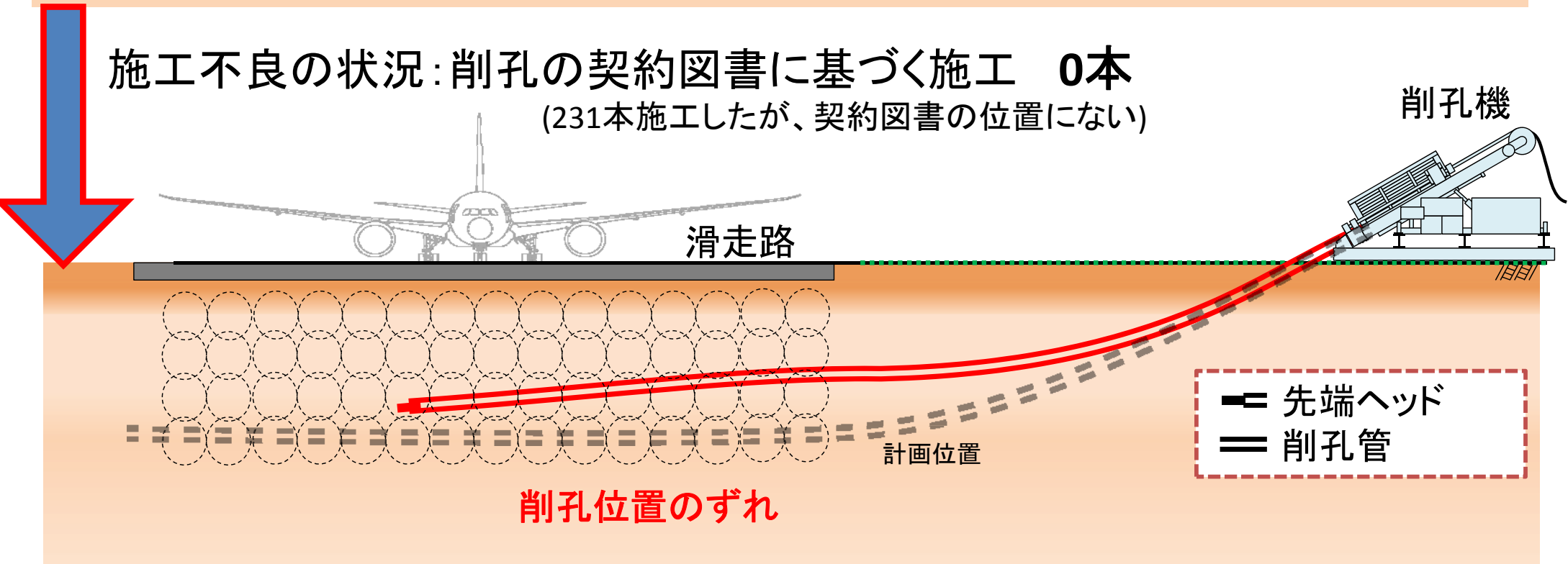
# 1. 削孔の契約図書に基づく施工

計画数量: 削孔 275本



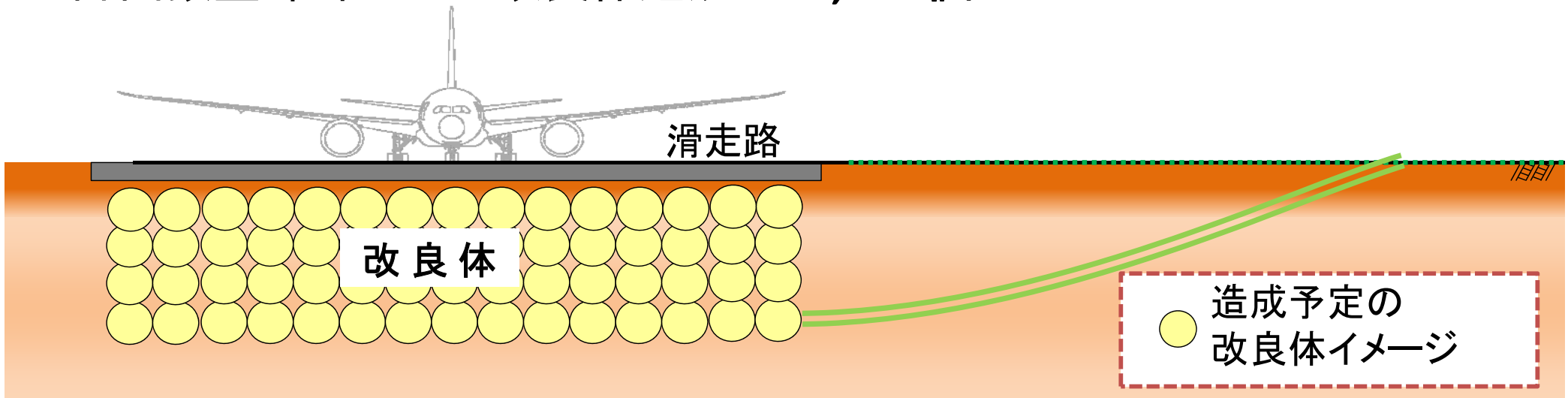
施工不良の状況: 削孔の契約図書に基づく施工 0本

(231本施工したが、契約図書の位置にない)

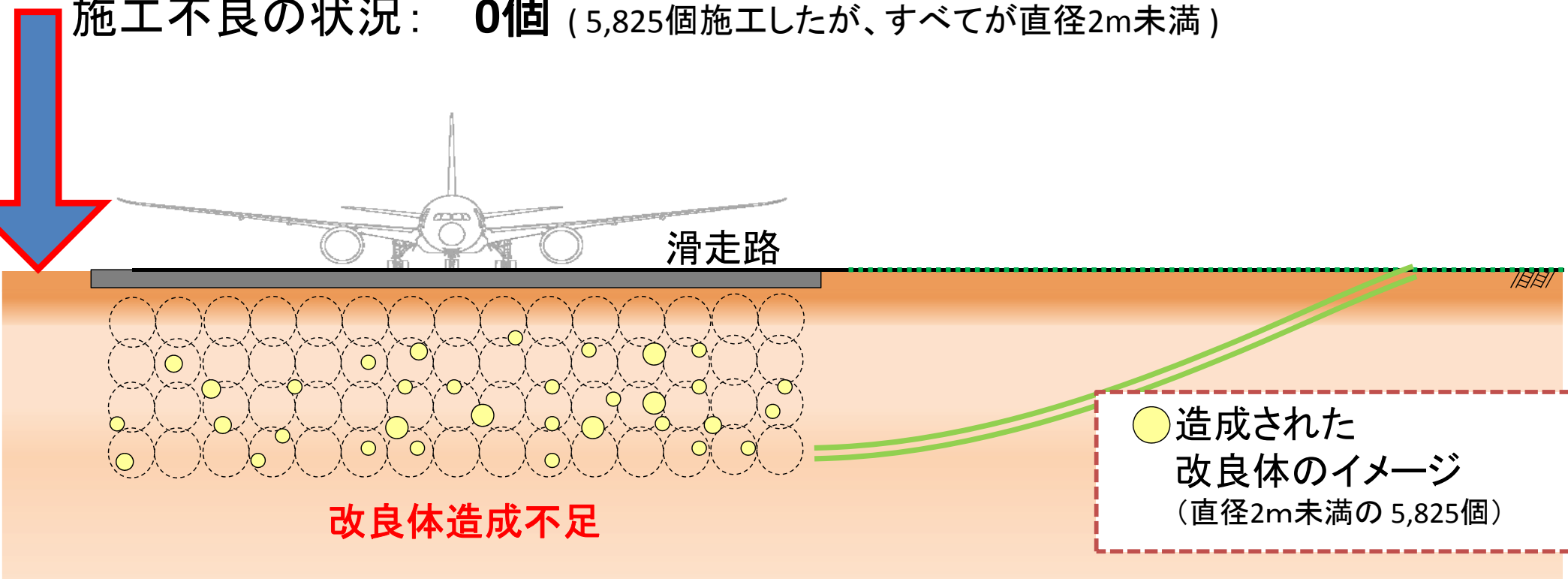


## 2. 直径2mの改良体の造成

計画数量：直径2mの改良体造成 **10,450個**

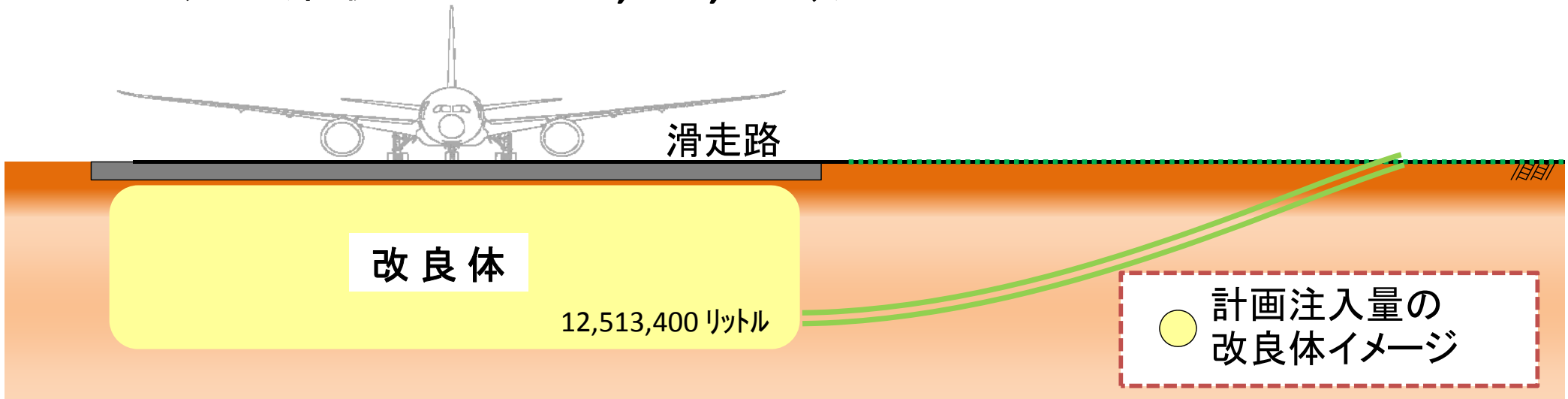


施工不良の状況： **0個** (5,825個施工したが、すべてが直径2m未満)

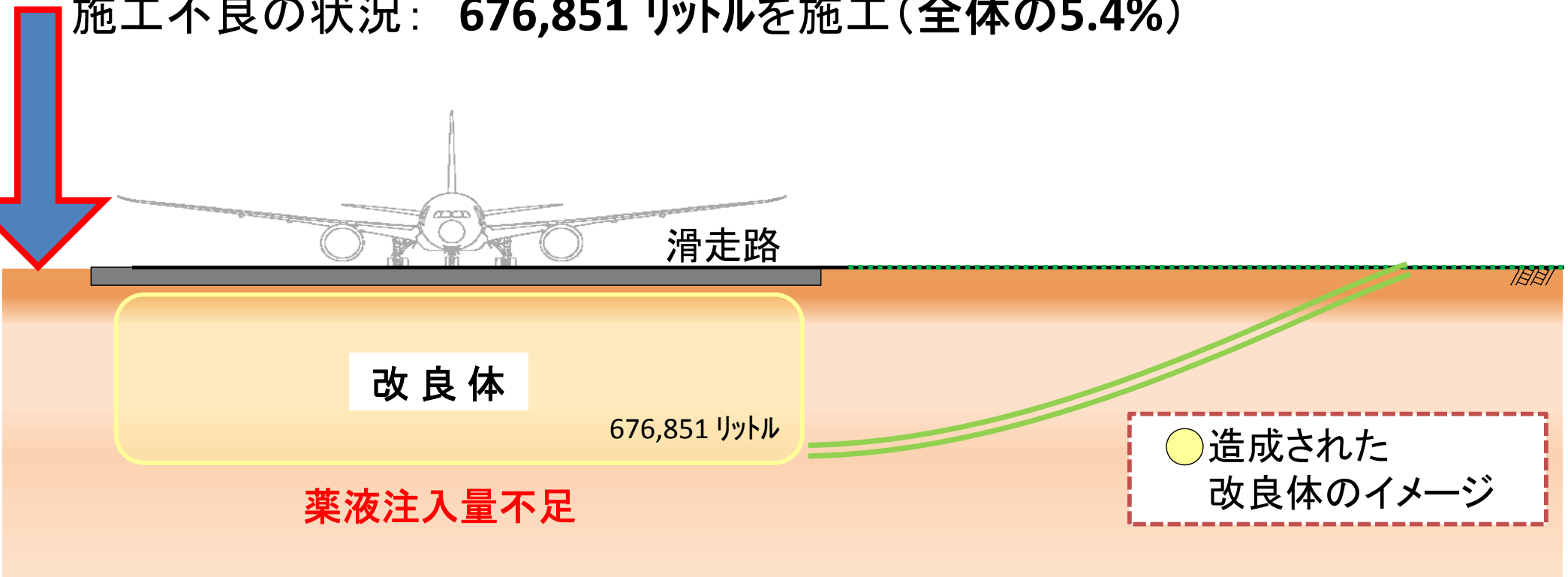


### 3. 薬液注入量の達成

計画数量：薬液注入量 **12,513,400リットル**



施工不良の状況： **676,851 リットル**を施工（全体の5.4%）



契約図書による監督項目

■ 出来形管理項目

- ・削孔位置
- ・削孔長
- ・薬液注入位置
- ・薬液注入速度・時間
- ・薬液注入圧力
- ・薬液注入量

確認方法

- 立会により
  - ・記録紙
  - ・モニター表示
- を確認

受注者の不誠実な行為

- ・記録紙
  - ・モニター表示
- を改ざん

■ 品質管理項目

事後調査  
(ボーリング、一軸圧縮試験)

- 立会により
  - ・現地での試料採取
  - ・室内での力学試験
- を確認

室内の力学試験  
に用いる採取試料  
をすり替え



契約図書による検査項目

■ 出来形管理項目

- ・削孔位置
- ・削孔長
- ・薬液注入位置
- ・薬液注入速度・時間
- ・薬液注入圧力
- ・薬液注入量

確認方法

(出来形管理)資料  
による確認

受注者の不誠実な行為

(出来形管理)資料  
における虚偽報告

■ 品質管理項目

事後調査  
(ボーリング、一軸圧縮試験)

(品質管理)資料  
による確認

(品質管理)資料  
における虚偽報告



(別添4)

平成28年5月6日

東亜・鹿島・大本特定建設工事共同企業体

代表者 東亜建設工業(株) 東京支店

執行役員支店長 越智 英木 様

支出負担行為担当官

関東地方整備局副局長 高田 昌行

### 指 示 事 項

東亜・鹿島・大本特定建設工事共同企業体が施工した「平成27年度東京国際空港C滑走路他地盤改良工事」について、施工不良であるとの報告があったことを受け、以下の所要の措置を直ちに講じるよう指示する。

1. 事実関係の更なる詳細な報告を行うこと
2. 判明した事実関係について速やかに公表すること
3. 原因究明とともに修補計画を早期に立案すること
4. 国土交通省が実施する調査に必要な協力を行うこと